



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年11～12月）

裾野地区、焼津地区、浜松西地区、島田地区、浜松東地区の安全運転管理協会では、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、昨年11月～12月にかけて、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し事故防止対策を協議しました。

【裾野地区】

12月2日（金）、裾野警察署の呼び掛けで、裾野市役所、沼津土木事務所、地元自治会、安協裾野地区支部等関係団体とともに、裾野地区安管協会から白砂会長と事務局長等3人、推進事業所「コイト電工㈱」2人が参加、合計21人により

11月17日（木）夕方、裾野市深良地先の県道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の92歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線のややカーブした道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- ドライバー対策～速度抑制と前方の安全確認を徹底するよう広報活動
- 歩行者対策～反射材の着用と「安全横断3つの柱」を指導する広報活動
- 死亡事故発生を注意喚起する看板の設置を検討

など、活発な意見が出されました。



【裾野警察署員から事故状況の説明】



【現場診断の状況】

【 焼 津 地 区 】

11月28日(月)、焼津警察署の呼び掛けで、焼津市役所、島田土木事務所、地元老人会、安協焼津地区支部等交通関係団体とともに、焼津地区安全運転管理協会から小山会長と副会長3人、事務局長の5人が参加、合計20人により、

①9月16日(金)午後、焼津市三ヶ名地先の県道交差点で発生した交通死亡事故
(貨物自動車と原付バイクとの出会い頭の衝突事故、バイクの84歳女性が死亡)

②11月2日(水)午前、焼津市中根地先の国道交差点で発生した交通死亡事故
(大型トラックと道路横断の自転車との衝突事故、自転車の85歳男性が死亡)
の2件の交通死亡事故による事故現場診断を行いました。

この2件の事故現場は、いずれも信号機のある交差点で、参加者による現場診断、及び事故防止対策を協議した結果、

① **ドライバー対策として、周囲の安全確認と運転マナーの向上を広報啓発**

② **国道交差点で地下道があるため、地下道を利用した安全横断の看板を設置
通行車両や自転車対策として、安全確認、安全走行の徹底を広報啓発**

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【①三ヶ名地先の県道における事故現場診断の状況】



【②中根地先の国道150号における事故現場診断の状況】

【 浜 松 西 地 区 】

12月21日(水)、浜松西警察署の呼び掛けで、浜松市西区役所、南土木事務所、入野町自治会、安協浜松西地区支部等関係団体とともに、浜松西地区安管協会から事務局長と推進事業所「医療法人社団和恵会入野ケアセンター」職員2人の計3人が参加、合計16人により

11月19日(土)深夜、浜松市西区入野町地先の市道で発生した交通死亡事故(大型貨物車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の45歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の信号機はないが横断歩道のある交差点で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 薄くて見えにくい道路外側線や横断歩道など道路標示の塗り替え
 - ドライバー対策として、ハイビームの活用と速度抑制の広報活動
 - 歩行者対策として、反射材の着用と「安全横断3つの柱」の指導広報活動
- など、活発な意見が出されました。



【浜松西警察署員から事故状況の説明】



【事故現場の見通し状況】



【現場診断の状況】



【事故防止検討会の状況】

【 島 田 地 区 】

12月19日(月)、島田警察署の呼び掛けで島田市役所、地域交通安全推進委員、地元自治会、安協島田地区支部等の交通関係団体とともに、島田地区安管協会から岡本会長と事務局長、推進事業所「山岸運送㈱」の3人が参加、合計16人により12月10日(木)夕方、島田市井口地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の80代男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側2車線の幅員が広い直線道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 日常的に自転車や徒歩で横断するケースがあるため、安易に横断できないように柵を設置しているが、今後、高齢者を中心として「安全横断3つの柱」等の交通安全教育を徹底していく。

などの意見が出されました。



【島田警察署員から事故状況の説明】



【現場診断の状況】

【浜松東地区】

12月23日(金)、浜松東警察署の呼び掛けで、浜松市役所、地元自治会、安協浜松東地区支部等交通関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から事務局長、会員事業所「第一工業㈱」副安全運転管理者の2人が参加、合計25人により、

- ① 11月14日(月)午後、東区大瀬町地先の県道交差点で発生した交通死亡事故
(軽四貨物車と原付バイクとの出会い頭の衝突事故、バイクの43歳男性が死亡)
- ② 11月18日(金)午後、東区大島町地先の市道交差点で発生した交通死亡事故
(軽四乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の72歳女性が死亡)

の2件の交通死亡事故による事故現場診断を行いました。

この2件の事故現場は、いずれも信号機のある交差点で、参加者による現場診断、及び事故防止対策を協議した結果、

- ① 薄くなった交差点の道路標示を塗り直す等交差点の直前で警告する対策
- ② 信号機の老朽化による交換を実施、歩行者用信号機の新設を検討

※ ①②とも、通行車両や歩行者対策で安全確認、安全走行の徹底を広報啓発など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【①大瀬町地先の県道交差点における事故現場診断の状況】



【②大島町地先の市道交差点における事故現場診断の状況】